

B. 学 科 試 験

県

氏名

どちらかに○×をご記入下さい。

○

×

- 1 A級インストラクターの資格があれば、どの種目も指導ができる。
- 2 小太刀の二段の者は、小太刀の初段、無段、級の審査、申請ができる。
- 3 長剣フリー初段は、長剣両手の昇段審査や指導ができる。
- 4 自分の所持している段種目しか、指導ができない事はないが、無資格である。
- 5 初心者の指導は、デフェンスの四方囲いからが良い。
- 6 打法の四基本とは、「扇打」「回打」「押打」「すくい打」のことをいう。
おおぎうち まわしうち おさえうち
- 7 「大回打」の練習は、打つ前、打った後、上段に回復することである。
- 8 打ち分けの基本練習は小手と足から始め、足から面打ちに進むと上達が早い。
- 9 待ち剣とは、相手の間合いの外で待つことである。
- 10 気剣体一致活動は、基本動作の最大重要な指導点である。
- 11 基本動作は、長剣でも良い。
- 12 二刀流は、小太刀で打っても、一本である。
- 13 打突は、練習でもエアーソフト剣でなければならない。
- 14 面は、空手や剣道の面を使っても良い。
- 15 エアーソフト剣のパンクは、自分で修理をしても良い。
- 16 相打ちとは、両者が負けである。
- 17 個人戦、打突試合は、1分1本勝負である。
- 18 小太刀護身道形の1本目は、扇打である。
- 19 そりよけとは、デフェンスの体さばきの一つである。
- 20 勝手とは、得物を持った方の手であるが、かばい手とは、得物を持たない手であるが、打たれたら、腰辺に維持して二度目は使えない。

合計